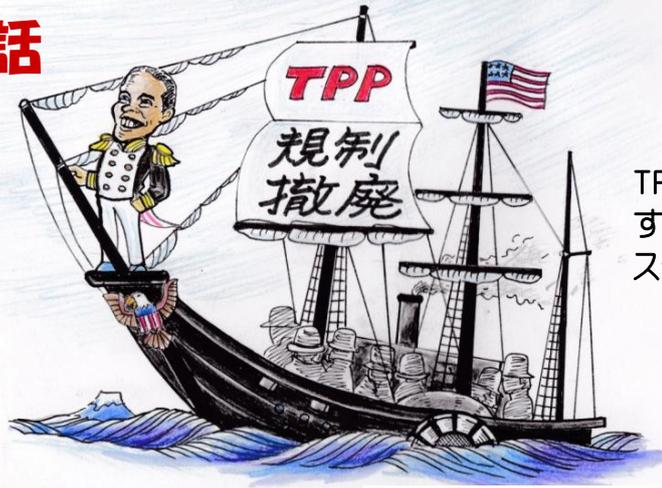


TPP本当の話



TPPの狙いは市場を規制するシステムを米国のシステムに準拠させること
(2009年 オバマ大統領)

● 異常な貿易協定

これまでのFTA(国・地域間の自由貿易協定)はお互いの都合を考慮、例外を認める自由貿易だが、TPPは例外なしの徹底した障壁の撤廃と大企業に有利な米国ルールへの統一、外国投資家の自由を守り、保護(内国民待遇)を各国に義務付ける

TPPの真の目的は市場のルールを大企業に有利なものへ変更すること



● 協議は秘密のTPP

これまで公表された唯一の文書は、どんな文書も公表されないという説明の文書だ

(米国NGOパブリックシチズン)

協議のなかみを国会議員も国民も知らされない

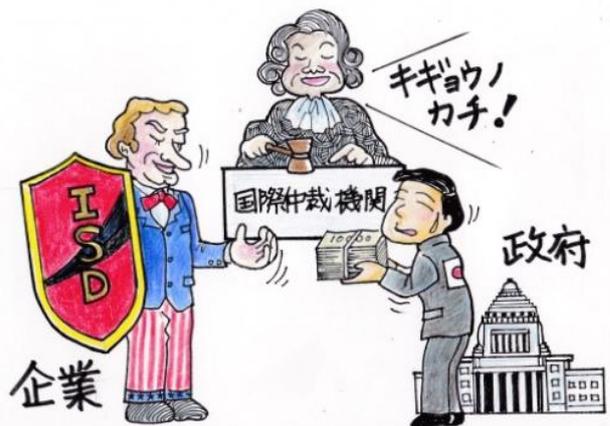
国民にはTPPの中身が知らされないのに多国籍企業の企業顧問600人にはアクセス権を与えている。米国通商代表部が企業と連係して協議を進めているからだ。



● 『企業对国家紛争処理』条項 (ISD Investor State Dispute Settlement) は企業が国家を訴えることができる規定

TPPの本質、ISD条項は企業に特権を与え、政府の規制を制限する

“国際評決機関”の判定の唯一の基準は企業に与えた権利を侵害しているかどうかだけ



● 食の安全

全品目の関税撤廃(TPPの原則)は国家主権の放棄 **米国基準への一律化要求**

- 食品添加物を増やせ
- ポストハーベスト(PH)農薬の使用を認めよ
- 米国の残留農薬基準を受け入れよ
- 遺伝子組み換え食品の表示の撤廃